

Edulution

令和6年度千葉県教育庁教育振興部
学習指導課ICT教育推進室発行
GIGAスクール通信 vol.01 (R6.4.24)

教育 (Education) × 進化 (Evolution) の造語
「ICT」を効果的に活用することで、
教育の次なるステップを目指しましょう。



※県教育委員会ホームページのICT教育のバナーにアクセスしてください。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/giga/jouhoukeikaku.html>

千葉県学校教育情報化推進計画

学ぶ意欲の向上

日常的にICT機器
を活用して学びの質を
高めている子供の割合
100%

子供

指導力の向上

子供の学びについて
ICTを活用して改
善することができる教
員の割合 100%

教員

校務の効率化

校務を分析・整理し、
ICT活用も含めた教
員の働き方改革を推進
している学校の割合
100%

学校

ICT活用を通して千葉の子供・教員・学校の可能性を引き出す取組

40.5%

56.3%

64.1%

(令和5年度末時点 各指標から算出した達成率)

改善のポイント

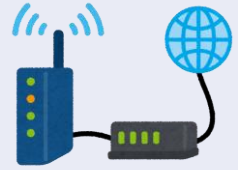
全国学力学習状況調査の結果から

- 前年度までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器を**毎日使用した**と回答する子供の割合(19.6%)
※**使わなくてもできるが使えば授業はもっとよくなる。**
- 1人1台端末の家庭への**持ち帰り**状況(34.9%)
※**壊れる心配をしていたら前へ進めません。**
- ICTを活用した**校務の効率化**の優良事例を取り入れているか(26.5%)
※**まずは模倣から始めましょう。**

教育DXに係るKPI(重要業績評価指標)の方向性

出典:R6.2.26第3回デジタル学習基盤特別委員会資料 文部科学省作成
https://www.mext.go.jp/content/20240222-mxt_jogai01-000033449_51.pdf



場面	インプットする場面
1人1台 端末	<input type="checkbox"/> 指導者用端末の整備100%(R6) <input type="checkbox"/> 常時活用できるように予備機の整理100%(R10)
ネット ワーク 改善	<input type="checkbox"/> 普通教室の無線LAN100%(R6) <input type="checkbox"/> 回線の速度の計測・把握100%(R6) <input type="checkbox"/> アセスメント実施済み100%(R7) <input type="checkbox"/> 十分なネットワーク速度確保済みの学校100%(R7) <input type="checkbox"/> クラウド対応のセキュリティポリシー策定100%(R7)
校務 DX	<input type="checkbox"/> クラウド環境を活用した校務のDX100%(R8) <input type="checkbox"/> FAX・押印の原則廃止100%(R7) <input type="checkbox"/> 不合理な入力作業の一掃100%(R7) <input type="checkbox"/> 生成AIを校務で活用50%(R7) <input type="checkbox"/> 次世代の校務支援システムの導入予定100%(R8)
端末の 積極的 活用	<input type="checkbox"/> ICT研修の受講100%(R6) <input type="checkbox"/> 授業にICTを活用して指導する能力100%(R7) <input type="checkbox"/> 児童生徒のICT活用能力を指導する能力100%(R7) <input type="checkbox"/> ICT支援員の配置 4校/人(R7) <input type="checkbox"/> 端末を週3回以上活用する学校100%(R6) <input type="checkbox"/> デジタル教科書の活用100%(R10)



昨年度末に公表された「教育DXに係るKPI」(専門家の意見を聞いて5月末には確定予定)は、令和6年度から始まった1人1台端末の更新に合わせて、「授業改善」「働き方改革」の推進、そしてその効果を測定するために、細かく到達目標が提示されました。

目標値の多くは「100%」であり、「達成年度」も指示されています。整備については主に教育委員会が担当ですが、活用については学校・職員が担当です。デジタル化が様々な場面で進んでいく現代において、学校だけが時代に置いて行かれるわけには行きません。

令和10年度にはインプット・アウトプットどちらの場面においてもすべての項目で100%が達成できるように、教育DXを進めていきます。

場面	アウトプットする場面
個別最適・協働的な学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●端末の週3回以上の活用 □調べる場面100%(R8) □発表・表現する場面100%(R8) □教職員とやり取りする場面80%(R8) □児童生徒同士でやり取りする場面80%(R8) □理解度に合わせて課題に取り組む場面80%(R8) 
情報活用能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●情報活用能力の底上げ □小学校 レベル3 20%以下(R8) □中学校 レベル5 20%以下(R8) ●キーボードの文字入力 □小学校 40字/分(R8) □中学校 60字/分(R8) 
学びの保障	<ul style="list-style-type: none"> □不登校児童生徒への授業配信100%(R8) □端末を活用した教育相談100%(R8) □外国人児童生徒の学習活動に端末を活用100%(R8) □支援を必要とする児童生徒の実態に応じた端末の活用100%(R8)
働き方改革への実現	<ul style="list-style-type: none"> □次世代の校務システムを導入済み100%(R11) □ロケーションフリーの校務処理が可能100%(R11)



1人1台端末の更新

令和元年度に整備が始まった第一期GIGAスクール構想で整備された1人1台端末が、今年度更新時期を迎えます。今回の更新は国から補助金が給付されるのではなく、県に基金を造成して、すべての市町村が参加する協議体によって共同調達を行うことが特色です。

県内の多くの市町村は令和7年度に更新となりますが、実際には更新年度やOSごとに共同調達を行いますので、すべての市町村が同じ端末を購入するわけではありません。なお、国からの補助金は上限5.5万円の3分の2まで(実質3.6万円)で、残りの3分の1は設置者(市町村教育委員会)が支払います。